

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. にじの丘学園における健全な学校運営のための体制づくりについて</p> <p>【質問趣旨】 令和2年4月に開校予定のにじの丘学園において、様々な試みが同時に始まることから、学校現場に掛かる負担が増大されることが予想されます。健全な学校運営のためには、教職員が心身共に健康な状態で児童生徒と向き合っていける環境を整えることが第一と考えます。そのためには、県による教職員加配のみならず、本市としても独自に体制強化の必要性があると感じることから、</p>	<p>(1) にじの丘学園開校に係る7校の教職員人数の現況について</p>	<p>① にじの丘学園開校に係る、現在での小中学校7校の県費負担教職員の合計人数と、にじの丘学園開校初年度における、県費負担教職員の人数の予定、およびその人数差について伺います。</p> <p>② 上記に関して、県費負担教職員の人数の確定はいつになるのか伺います。</p> <p>③ にじの丘学園開校に係る、現在での小中学校7校の市費負担教職員、その他教職員以外で市費にて学校運営に係る人員の合計人数と、その役割について伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
その必要要素を丁寧に検証し、運営体制に対する本市の見解を伺うものであります。	(2) にじの丘学園における教職員の負担と運営体制の検証について	<p>① 統合する7校の児童生徒間の交流は、今日までにおいても積極的に行われているものの、開校初年度においては、クラスの半分以上の児童生徒が初めて机を並べることになります。教職員においては、全学年の児童生徒の様子を注意深く見守る必要があります。既存校に継続して勤める教職員と比べて、それに係る教職員の負担は大きくなると懸念しますが、見解を伺います。</p> <p>② 上記に関して、特にクラス担任を受け持つ教員は、より児童生徒と同じ時間を過ごすことのできる体制づくりが重要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 通常、教職員が他校へ異動となる際は、継続的に運営されている学校へ入る形になります。令和2年4月からにじの丘学園へ赴任される教職員においては、組織としての運営体制が整っていない状態、また「新設」の瀬戸市初の「施設一体型小中一貫校」としてスタートとなります。既存校に継続して勤める教職員と比べて、それに係る教職員の負担は大きくなると懸念しますが、見解を伺います。</p> <p>④ 上記に関して、事前の体制づくりが重要と考えますが、教職員間連携という観点において、現在までの取り組み、開校までの取り組み予定について伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑤ にじの丘学園は、瀬戸市内における「小中一貫教育のモデル校」として開校します。先に示された教育プログラムにおいて、ティーチングからコーチングへ行動を促す教育への転換、小中学校教員の相互乗り入れ授業、小中学生の異学年交流、子どもたちとともに創り上げる授業、ICTを駆使した授業、習熟度課題別学習、新たなキャリア教育、地域教育、1年生からの英語教育など、新たな試みは多岐に渡ります。既存校に継続して勤める教職員と比べて、それに係る教職員の負担は大きくなると懸念しますが、見解を伺います。</p> <p>⑥ にじの丘学園において、教育プログラムに示された内容は、すべて令和2年度より始まるのか、または段階的に取り入れていくのか伺います。</p> <p>⑦ にじの丘学園で行われる、入学式を始め、運動会、文化祭、卒業式、授業参観など、すべての行事は、ここで行われる初めての行事となります。小中一貫校としての各行事の捉え方、各行事の運営方法の検討と決定、そして実施。開校後数年は積極的に行われるであろう行事ごとの検証と改善に係る労力は、多大なものになると想像されます。既存校に継続して勤める教職員と比べて、それに係る教職員の負担は大きくなると懸念しますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑧ にじの丘学園への通学は、祖東中学校在校生を除き、すべての児童生徒において初めての経験となります。徒歩とバスによる通学は、地域との連携もとりながらとなりますが、5つもの地域との調整、バス事業者との調整や、様々な通学時のトラブルへの対応が必要となります。また、登校であれば5つの地域からの受け入れ対応、下校であれば、バスダイヤに合わせた下校管理とバス停までの誘導、複数の児童クラブへの受け渡しも必要となります。既存校に継続して勤める教職員と比べて、それに係る教職員の負担は大きくなると懸念しますが、見解を伺います。</p> <p>⑨ 上記に関して、にじの丘学園への通学に係る学校側の業務負担・責任は大きいものの、授業などとは業務の性格が異なるため、通学に係る業務は教職員の業務と分けることも可能と考えます。通学に係る業務をまとめて所管する学校内組織の必要性を感じますが、見解を伺います。</p> <p>⑩ にじの丘学園は、義務教育学校ではなく、小中一貫型小学校・中学校であることからそれぞれに校長を配置する体制となる予定です。小中学校それぞれの意思決定に関しては、それぞれの校長が担うことになると考えますが、施設一体型小中一貫校として全体の意思決定を行う際はどのようなようになるのか。リーダーシップを発揮して学園全体の意思決定を行うためにも、学園長(兼任でもよいと考える)という役職は必要不可欠と考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) にじの丘学園における運営体制の強化について	<p>① 教職員個人において、小中一貫教育のモデル校での経験は、どのような効果が期待できるのか、見解を伺います。</p> <p>② 上記に関して、瀬戸市の教育行政において、どのような効果が期待できるのか、見解を伺います。</p> <p>③ にじの丘学園における運営体制の強化のためには、市費による教職員及び学校運営に係る人員の適正配置の必要があると考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 本市における小中一貫教育の現況と今後の展開について</p> <p>【質問趣旨】 本市においては、平成28年10月に瀬戸市小中一貫教育に関する基本構想を定めました。 本市として小中一貫教育を推進していく中で、教育の公平性と独自性という2つの観点から、現況と今後の展開について伺うものであります。</p>	<p>(1) 市内小中学校における教育の公平性という観点から</p>	<p>① 令和2年4月には瀬戸市初の施設一体型小中一貫校が開校されることから、瀬戸市の教育行政において大きな節目の年となります。にじの丘学園を除く小学校15校、中学校6校の教育は大きく変わるのか、変わるのであれば何が変わるのか伺います。</p> <p>② 同じ小中一貫教育でも、施設一体型と施設分離型では、運用が異なります。施設一体型と比べた場合、施設分離型の課題は何か伺います。</p> <p>③ 現在、市内の小中学校は、それぞれの歴史変遷を経て特色を持ってきております。各々の地域教育や行事の違い、日課や学習活動の内容に至るまで多様性があるなか、各校の違いをどのように捉えているか見解を伺います。</p> <p>④ 上記に関して、本市が掲げる小中一貫教育の中で、教育の公平性という観点において、重視すべきは何か伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) 公立小中学校の独自性という観点から	<p>① 本市では、小中一貫教育を全市的に推進していくとしておりますが、現在までに行われている各校の具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>② 本市の教育行政として、教育の公平性を担保していく必要がある一方、各校の裁量で創意工夫を発揮した特色ある教育活動を実施していくことも重要と考えます。本市においても、各校地域性に富んだ様々な試みがされておりますが、小中一貫教育に関しては、学校の裁量がどの程度あるのか伺います。</p> <p>③ 本市の教育行政は、学習指導要領に基づいた一定の公平性を維持しながら、各地域の独自性を活かした教育活動を推進することが重要と考えます。小中一貫教育の展開においては、本市が掲げる方針のもと、各校の地域性への配慮、学校意思の尊重を持って進めるべきと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。